



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月11日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 ソト一
コード番号 3571 URL <http://www.sotoh.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高岡 幸郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 中島 紀男

四半期報告書提出予定日 平成22年11月15日

配当支払開始予定日

TEL 0586-45-1121

平成22年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	5,383	44.7	368	—	186	—	65	—
22年3月期第2四半期	3,719	△11.2	7	△90.6	△289	—	△212	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	5.18	—
22年3月期第2四半期	△16.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	17,665	14,713	83.3	1,156.00
22年3月期	18,130	15,061	83.1	1,183.33

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 14,713百万円 22年3月期 15,061百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	22.00	—	18.00	40.00
23年3月期	—	20.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,550	38.3	550	—	550	—	330	—	25.93

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 13,933,757株 22年3月期 13,933,757株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 1,205,747株 22年3月期 1,205,733株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 12,728,019株 22年3月期2Q 12,939,214株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社は平成22年度を初年度とする中期3ヵ年経営計画を策定しており、これを着実に実行してまいります。その基本方針は染色加工事業で培った「感性技術」をベースに、テキスタイル事業と一体となってグローバル展開を図り、安定的・持続的成長を実現することにあります。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高53億8千3百万円（前年同期比44.7%増）となりました。利益面では、営業利益3億6千8百万円（前年同期は営業利益7百万円）となり、営業外収支において投資事業組合運用損が3億2千7百万円発生したこと等に伴い、経常利益1億8千6百万円（前年同期は経常損失2億8千9百万円）、四半期純利益6千5百万円（前年同期は四半期純損失2億1千2百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

「染色加工事業」は、同業他社からの事業譲受けが着実に効果を上げていることや染色加工の国内生産へのシフトが見られること等に伴い、売上高41億5千万円（前年同期比26.0%増）、営業利益1億9千7百万円（前年同期は営業損失1億5千9百万円）となりました。品種別売上高は、織物が21億3千7百万円（前年同期比26.4%増）、ニットが20億1千3百万円（前年同期比25.6%増）であります。

「テキスタイル事業」は譲受けた事業が寄与し、売上高9億5千4百万円（前年同期は8千9百万円）、営業利益5百万円（前年同期は営業損失3千9百万円）となりました。

「不動産賃貸事業」は賃貸料の値下げの影響により、売上高2億7千7百万円（前年同期比17.3%減）、営業利益1億6千5百万円（前年同期比20.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は、投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末と比べ4億6千5百万円減少し、176億6千5百万円となりました。負債につきましては、繰延税金負債の減少等により、1億1千7百万円減少し、29億5千1百万円となりました。純資産につきましては、配当金の支払等により、3億4千7百万円減少し、147億1千3百万円、自己資本比率は83.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が2千1百万円となりましたが、売上債権の増加額8億1千8百万円があったものの、減価償却費3億3千5百万円及び投資事業組合運用損3億2千7百万円があったこと等により、8千3百万円の増加（前年同期は1億7百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出2億3千7百万円及び事業譲受による支出2億円があったものの、有価証券の売却及び償還による収入5億円があったこと等により、4千万円の減少（前年同期は2億2千5百万円の増加）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額2億2千9百万円があったこと等により2億2千9百万円の減少（前年同期は6億7千8百万円の減少）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は、前連結会計年度末と比べ1億8千7百万円減少し、10億9千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、平成22年5月13日に公表いたしました予想数値を修正しておりますので、平成22年10月7日付け「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出方法に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益が63,300千円減少しております。なお、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は63,300千円であります。

2. 「企業結合に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日）、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,097,036	1,320,222
受取手形及び売掛金	1,981,359	1,162,817
有価証券	1,521,614	550,991
完成品	112,913	123,249
仕掛品	222,621	152,290
原材料及び貯蔵品	210,887	207,875
繰延税金資産	15,134	20,598
その他	135,693	212,876
貸倒引当金	△27,740	△2,300
流動資産合計	5,269,520	3,748,621
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,882,098	1,945,778
機械装置及び運搬具(純額)	985,121	1,012,845
土地	1,149,777	1,149,777
リース資産(純額)	3,395	3,795
建設仮勘定	49,288	—
その他(純額)	72,724	70,570
有形固定資産合計	4,142,406	4,182,766
無形固定資産		
のれん	180,000	—
その他	15,389	16,294
無形固定資産合計	195,389	16,294
投資その他の資産		
投資有価証券	7,086,825	9,335,927
長期貸付金	1,663	1,663
繰延税金資産	427,283	339,316
その他	544,361	507,966
貸倒引当金	△2,290	△2,290
投資その他の資産合計	8,057,843	10,182,583
固定資産合計	12,395,638	14,381,644
資産合計	17,665,159	18,130,266

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	392,720	310,251
リース債務	798	798
未払法人税等	42,793	101,313
繰延税金負債	—	177
未払費用	340,780	220,078
役員賞与引当金	7,000	—
その他	566,885	671,235
流動負債合計	1,350,980	1,303,855
固定負債		
リース債務	2,596	2,996
退職給付引当金	520,115	536,842
長期預り保証金	618,663	618,663
繰延税金負債	176,279	317,769
負ののれん	207,166	276,221
資産除去債務	63,300	—
その他	12,506	12,506
固定負債合計	1,600,626	1,764,998
負債合計	2,951,606	3,068,854
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,124,199	3,124,199
資本剰余金	1,348,828	1,348,828
利益剰余金	11,285,613	11,448,755
自己株式	△1,361,125	△1,361,114
株主資本合計	14,397,515	14,560,668
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	316,037	500,742
評価・換算差額等合計	316,037	500,742
純資産合計	14,713,552	15,061,411
負債純資産合計	17,665,159	18,130,266

(2) 四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	3,719,304	5,383,007
売上原価	3,429,234	4,555,822
売上総利益	290,070	827,185
販売費及び一般管理費	282,241	458,862
営業利益	7,829	368,322
営業外収益		
受取利息	41,521	12,416
受取配当金	88,459	84,075
負ののれん償却額	69,787	69,055
その他	12,025	9,700
営業外収益合計	211,794	175,248
営業外費用		
支払利息	2,546	—
売上割引	19,388	28,784
投資事業組合運用損	482,994	327,379
その他	4,044	1,387
営業外費用合計	508,974	357,550
経常利益又は経常損失(△)	△289,350	186,020
特別利益		
固定資産売却益	—	6,118
投資有価証券売却益	—	7,014
特別利益合計	—	13,132
特別損失		
固定資産処分損	21,167	11,149
投資有価証券評価損	—	103,085
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	63,300
特別損失合計	21,167	177,535
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△310,518	21,617
法人税等	△98,019	△44,346
少数株主損益調整前四半期純利益	—	65,963
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△212,498	65,963

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△310,518	21,617
減価償却費	386,798	335,664
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	63,300
のれん及び負のれん償却額	△69,787	△49,055
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	25,440
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	7,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△36,402	△16,727
受取利息及び受取配当金	△129,981	△96,492
支払利息	2,546	—
有形固定資産処分損益(△は益)	21,167	5,030
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△7,014
投資事業組合運用損益(△は益)	482,994	327,379
投資有価証券評価損益(△は益)	—	103,085
売上債権の増減額(△は増加)	△339,059	△818,541
たな卸資産の増減額(△は増加)	△33,732	△63,007
仕入債務の増減額(△は減少)	15,208	82,469
未払費用の増減額(△は減少)	△828	120,702
未払消費税等の増減額(△は減少)	22,808	25,243
その他	△127,357	△59,632
小計	△116,142	6,460
利息及び配当金の受取額	129,981	96,492
利息の支払額	△2,546	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	95,816	△19,916
営業活動によるキャッシュ・フロー	107,108	83,036
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	56,490	36,028
有価証券の売却及び償還による収入	500,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	△225,904	△237,209
有形固定資産の売却による収入	521	6,862
投資有価証券の取得による支出	△29,032	△24,635
投資有価証券の売却及び償還による収入	62,998	10,523
投資事業組合からの分配による収入	23,241	71,918
預り保証金の返還による支出	△179,319	△158,833
事業譲受による支出	—	△200,000
その他	16,076	△45,246
投資活動によるキャッシュ・フロー	225,071	△40,591
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△226,569	△229,371
自己株式の取得による支出	△451,568	△11
その他	△397	△196
財務活動によるキャッシュ・フロー	△678,535	△229,579
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△346,354	△187,134
現金及び現金同等物の期首残高	1,186,411	1,282,658
現金及び現金同等物の四半期末残高	840,057	1,095,523

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	染色、整理 加工事業 (千円)	テキスタイル 事業 (千円)	不動産賃貸 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,293,723	89,660	335,920	3,719,304	—	3,719,304
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,351	866	—	21,217	(21,217)	—
計	3,314,074	90,526	335,920	3,740,521	(21,217)	3,719,304
営業利益又は営業損失(△)	△159,939	△39,727	207,495	7,829	—	7,829

- (注) 1 事業区分は産業分類を勘案して区分しております。
 2 各事業の内容は次のとおりであります。
 染色、整理加工事業……繊維製品の染色、整理加工
 テキスタイル事業……繊維製品の製造、販売
 不動産賃貸事業……量販店に対する店舗の賃貸等

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

本邦以外の国又は地域において売上がないため、該当事項はありません。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社は、内部管理上採用している区分により「染色加工事業」「テキスタイル事業」「不動産賃貸事業」の3つを報告セグメントとしております。

「染色加工事業」は繊維製品の染色加工を、「テキスタイル事業」は繊維製品の製造販売を、「不動産賃貸事業」は量販店に対する店舗の賃貸等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)	四半期連結損 益計算書計上 額(千円)
	染色加工事業 (千円)	テキスタイル 事業 (千円)	不動産賃貸 事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,150,748	954,366	277,892	5,383,007	—	5,383,007
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	83,281	4,504	13,950	101,736	△101,736	—
計	4,234,030	958,871	291,842	5,484,744	△101,736	5,383,007
セグメント利益	197,157	5,891	165,274	368,322	—	368,322

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。